

富士市立高等学校 学校運営協議会		第6回	会議要旨 (平成26年度)
開催日 平成27年2月3日 火曜日 開会 18時30分 閉会 20時50分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
出席委員 上柳 正仁 野村 浩美 塩田 真吾 柴田 怜奈 杉山 荘一 中川 加代子 畑 隆 吉村 孝夫 渡邊 利夫 齋藤 照安 小野 政幸 金親 徳行 植野 秀樹			
開会			
畑会長あいさつ（概要） ・年度末を迎え、時の経つのが早いと感じる。 ・市立高の生徒（3年次生）も現在受験シーズンの最中だと思う。 ・本日は、3年次生の進路状況も聞けるようだ。 ・学校評価もあるので、評価に必要な情報も伺いたいと考えている。			
校長あいさつ（概要） ・大変寒い中の来校感謝している。 ・本日から3年次生は高校生活最後の学年末テストが始まった。 ・国公立大学の前期試験を控えクラスによっては緊張した雰囲気である。 ・大学入試で、今年度はAO入試が減り、一般入試を受験する生徒が増加した。 ・センター試験をきちんと受験して大学受験をしようとする生徒が出てきた。 ・本年度の卒業式は3月1日、日曜日であるが挙げる。 ・3月4・5日には本校の入学選抜が行われる。 ・今後、大学入試制度が大きな改革がなされる予定。 ・大学入試改革に合わせた教育課程の見直しを来年度から進める。 ・今年度は富士警察署からの依頼で、サイクルマナーの研究指定を受けた。 ・事故件数は3分の1に減ったが、今後も交通安全指導を継続したい。 ・今後、市立高校に対する保護者世代の固定概念を変えていきたい。 ・協議会委員の皆さまのお力添えやご助言をいただきながら進めたい。 ・2月19日は1・2年次生の探究学習発表会が予定されている。 ・発表会には是非足を運んでいただきたい。			

議事の概要

平成26年度活動報告（概要）

- ・3年次生の進路決定状況であるが、217名中179名が現在決定している。
- ・これから国公立大学の2次試験が始まるので、あくまでも1月末の数字。
- ・就職希望者の内定状況は34名の希望者で33名が内定をいただいている。
- ・自衛官や県警に合格した者も複数いる。
- ・部活動では弓道、水泳、陸上がインターハイに出場した。
- ・本年度全国大会出場者の中には2年次生の者も多いので来年も期待できる。
- ・柔道部70kg級で3月の全国選抜への出場が決定している。
- ・吹奏楽部は東海大会に出場した。
- ・チアリーダー部は全国大会で1位となった。
- ・ビジネス部（吉商本舗）も頑張っている。
- ・チアリーダー部は市長表敬訪問も果たした。
- ・2月19日の探究発表会で、1年はディベート大会、2年はテーマ別発表。
- ・11月30日から2年次生は海外探究研修に行った。
- ・2年次生237名、全員が参加し、全員大きな怪我等もなく帰国できた。
- ・総合探究科はアメリカ合衆国ボストンでハーバード大学などで研修。
- ・ビジネス探究科は台湾にて高校交流や企業訪問などを行った。
- ・スポーツ探究科はオランダ・ドイツでスポーツ交流を行った。
- ・リクルートの進学情報誌でも本校の取組を記事にしてもらった。
- ・11月のリクルート主催のセミナーで事例報告をさせてもらった。
- ・海外探究研修以外でも夏の集中研修でも商工会議所青年部とサマーインターンシップもやらせてもらった。
- ・「大学新聞」という媒体にも取り上げてもらい、大学にも本校を知ってもらえた。
- ・地域交流活動では吹奏楽部と市内中学5校との合同練習会などを行った。
- ・ボランティア活動で表彰された生徒もいる。
- ・高校生ビジネスグランプリではベスト100に選ばれた。
- ・吉商本舗ん津は、リニューアルされ発売された。
- ・本年度は地域のワークショップ等に多くの生徒が参加させてもらった。
- ・ワークショップ等で生徒たちは堂々と自分の意見を述べる事ができた。

○上記活動報告について質問

（質問・意見等）

→新聞に取り上げられたものが資料にあるが、学校側が取材依頼を流しているのか。

（回答）

→ワークショップなどは主催者側が報道提供しているが、市立高校単独のものは事務室と広報広聴課を通して依頼をしている。

（質問・意見等）

→中学生や中学生の保護者の世代にもっと市立高校をしってもらうためのメディア戦略を考えるべき。

(質問・意見等)	→少し学校のホームページも硬いような気もするので、工夫をしてみ てはどうか。
(質問・意見等)	→AO入試を避けて、一般入試で挑戦しているという傾向は素晴らし い。
(質問・意見等)	→指定校推薦の人数が昨年度よりも増えているが理由があるのか。
(回答)	→基本的に指定校推薦を推奨しているということはない。今年度は本 校の探究学習を認めてくれ東京6大学の1つの大学から指定校をい ただいた。また、教員が出張の際に東京、名古屋、京都などの大学 を訪問して指定校のお願いをした結果、指定校の枠も増加した。
(回答)	→本校の取組を、色々な媒体に取り上げてもらい、大学にも興味を持 ってもらえるようになった。
(質問・意見等)	→進路状況が全てではないが、指定校推薦の枠が増えていくというの は素晴らしい。

各委員から

(上柳委員)

- ・今泉で電気設備の工場、人材派遣業、太陽光発電事業など5つの会社を経営してお
り、社員は約130名で市立高校の卒業生もいる。
- ・商工会議所の青年部での活動が私のライフワークで、特にキャリア教育で学校と企
業のコラボレーションで地域の再生をはかっている。
- ・富士市はキャリア教育では最先端をいっていると思う。
- ・本年度は先ほど学校からも話があったが、サマーインターンシップということで、
ただの職場体験ではなく、最終的に生徒が企業のCMを作るところまで体験しても
らった。
- ・市立高校の取組は全国の中でも屈指だと思う。
- ・私の希望は地域の中小企業に地元の若者がたくさん就業して地域が活性化するこ
と。
- ・市立高校の生徒にも優良な富士市の中小企業に多く就職して欲しい。
- ・地域を支えるのはこの地域で生まれた方が最適だと考えるので、我々企業側ももっ
とアピールして入社してもらえるようにしたいと考えている。

(野村委員)

- ・仕事は運輸会社のセンターにて荷物の受付から発送業務までを行っている。
- ・お客様が勉強されていて荷物ごとでどの業者が安いかを判断して発送している。
- ・地域に根ざしたアットホームなセンターを目指し、臨機応変に対応している。
- ・PTAの活動は学校祭でのバザーの開催、そのバザーの収益で健脚大会の際に生徒
に振舞う豚汁を作り、提供している。
- ・豚汁作りは、役員だけではなく会員全員に呼び掛けをしている。
- ・健脚大会では公道を使用するため交通整理もPTAで行っている。

- ・その他校門指導の見守りで交通安全活動やあいさつ運動を行っている。

- ・広報活動としては「PTA会報」を年度末に発行している。

(塩田委員)

- ・静岡大学教育学部で教鞭をとっている。

- ・教育工学という分野が専門。

- ・市立高校の総合探究科の1年生を静岡大学に招いて大学の講義を体験してもらったり、大学生とグループ活動をしてもらったりしている。

- ・現在の大学入試は、国公立大学の場合は筆記テストの成績順で合格者が決まっているが、今後は面接や課題解決といったものを課しての選抜が主流になる。

- ・市立高校のやっていることに大学入試制度が追いついてきたと言える。

- ・このような状況の中で、市立高校は探究学習の質をどのように高めていくのかが重要。

- ・探究学習の質を高めるためには「問いの立て方」をきちんとやると良い。

- ・大学教員は「問いを立てる」ということをトレーニングしているので、その辺で協力できると考えている。

- ・市立高校の生徒は、口頭ベースのコミュニケーションは上手だが、文章で伝えることが苦手なようなので、書く力を育成していけば良いと思う。

- ・柴田委員の静岡大学での講義は、学生にも好評だったので、市立高校でも是非行ってもらいたい。

(柴田委員)

- ・FMしみずというコミュニティFMでパーソナリティをしている。

- ・吉原商業高校の時代の卒業生。

- ・私の高校生の時代は、健脚大会で豚汁ではなく、おしるこ甘酒が1年おきに振舞われていた。

- ・先日、吉原商業高校の同級生と話をし、高校生を持つ母親なのに市立高校が変わっていることを知らなかった。

- ・自分自身も番組で小中学校の話題は提供していたが、高校については取り上げてこなかった。

- ・先ほども出たが、もう少し市立高校を知ってもらうための工夫が必要なかもしれない。

- ・ラジオの仕事だけではなく、イベントの司会などもしている。

- ・最近はお葬儀の司会もよくやらせてもらうが、故人紹介の原稿をご遺族との短い話から15分くらいで考えなくてはならない。

- ・短い時間で原稿を考え、それを人前で話をするということは、今後必要になる能力だと思うので、市立高校の生徒にもお話する機会があれば考えている。

- ・今まで直接生徒たちと触れ合ったことがないので、今後はそのような機会を作っていきたい。

(杉山委員)

- ・同窓会を代表して運営協議会に参加している。
- ・同窓会の主旨は、会員同士の親睦、母校の発展に寄与することなので、それに沿った事業展開をしている。
- ・同窓会は全国大会等に出場する部活に奨励金を出すクラブ振興事業や運動・学力に特に優れた生徒に対して支給する奨学金事業を行っている。
- ・4年制大学進学者に対する大学在学中の奨学金を貸与する育英奨学事業も行っている。
- ・同窓会の事業についても報道提供をお願いしている。
- ・学習環境の整備で不足する備品等、同窓会で支援ができるものであれば協力し、卒業生に対する記念品の贈呈もさせてもらっている。
- ・同窓会総会への出席率が低いので、それを改善することを検討している。
- ・富士川楽座に勤務しているので、何かあれば声を掛けてもらいたい。

(中川委員)

- ・市立高校の隣で「ひな保育園」という保育園の理事長兼園長をしている。
- ・比奈に住んで40年経つが初めの頃は市立高校とマイナスのお付き合いだった。
- ・敷地内で喧嘩をしてしまったたり、タバコが原因で小火騒ぎになったりということもあった。
- ・家庭科が男女共修になり、保育実習を市立高校からお願いされて、その頃から「仲よし作戦」でいこうと考え、保育実習を受け入れた。
- ・保育実習では色々なドラマがあり、事故も発生したこともあった。
- ・事故を契機に実習の打ち切りもできたが、注意に注意を重ねてやっていけば良いと思ひ、中止せずに続けている。
- ・男子生徒の反省文を今でもとってある。それを読むと生徒は、きちんと学んでくれていると思った。
- ・保育実習等での積み重ねによって、今は市立高校と良い関係ができています。
- ・固定観念でなかなか変わっていかないという話があったが、近所での評判はとて良くなっている。
- ・指定校推薦の話もあったが、もちろん先生方もご努力されていると思うが、指定校推薦で進学した卒業生たちがしっかりと学生生活を送っているから指定校推薦の人数が増えているのだと思う。
- ・教育課程の見直しなども計画があるようだが、できれば保育実習は継続した方が良いと思う。
- ・保育実習では虐待の話などもさせてもらい、保育実習が社会人になったときのベースになってくれれば良いなと思ひながら実習を行っている。

(吉村委員)

- ・市立高校の校門から100mほど下がったところで畳屋をしている。

- ・吉原商業創立前から住んでいる。
- ・初代の土屋校長先生もよく声をかけてくれ、齋藤校長先生もよく声をかけてありがたい。
- ・静岡県の地域防災委員をやっている。
- ・防災教育連絡会という会議を年に1回市立高校でやっている。
- ・よく「防災の3K（継続・検証・確認）」という話も出るが、それを考えながら防災訓練をしている。
- ・担架の使用方法についてお話をするが、担架は2本の棒とTシャツで作ることができる。
- ・担架で人を運ぶときもルールがあって前を持つ人が後ろを持つ人に声を掛けながら運ぶのが良い。
- ・根方街道から学校までを私は「健康の坂」と呼んでいるのだが、「陣屋の坂」といって伊能忠敬も歩いたという記録がある。この道をずっと行くと茶畑の方まで繋がっていてすごく良い所なので、活用すればどうか。
- ・テレビを観ていたら、市役所の西側でお茶やお菓子を販売していたという報道を観た。吉商本舗でも茶畑のところで何かを販売したらどうかと思った。

(渡邊委員)

- ・岳陽中学校長として3年目で、前任は吉原北中学校長だった。
- ・教諭時代に須津中学校で勤務していたとき、土曜日の午後に吉原商業のバレー部と合同練習をさせてもらって市内準優勝した。そのときの教え子はその後3名も吉原商業に入学して面倒をみてもらった。
- ・この学校運営協議会は、準備委員会のときから関わらせてもらっている。
- ・市の教育委員会に勤務していたとき、当時の教育長の平岡先生から吉原商業高校を変えたいという強い思いを聞いていた。
- ・中学校は高校へ生徒を送り出す立場、頑張りがきいて、根気強く何事にも前向きに取り組む子どもたちを送り出したいという気持ちでやっている。
- ・吉原北中学校のときに送り出した市立高校の1期生は、3名国公立大学に進学させてもらった。
- ・先ほどから色々な委員の皆さんから出ているが、保護者の理解がまだまだという気が私もしている。
- ・岳陽中学校では女子バレー部が市立高校のバレー部と関わりを持たせてもらっている。
- ・田子浦中学校などでは吹奏楽部が市立高校と合同練習をさせてもらっている。
- ・須津中学校は吉商本舗との関わりがある。
- ・中学生が関わりを持つことによって保護者の目も市立高校に自然に向く。
- ・部活動での中学校との交流をもっとやると良い。
- ・ポスターについてだが、生徒をもっと前面に出したものにすると良いと思う。

- ・ボランティア活動についても地域の方々はやってくれていることを知っているが、もっと広く知ってもらうためにPRをした方が良い。
- ・生徒募集については、高校だけではなく中学も私立中学校や公立の中高一貫校が増えたので苦労している。
- ・生徒募集も宣伝活動が鍵になるので、力を入れて取り組むべき。
- ・新しい学習指導要領により中学校では、言語活動を重視した授業を全教科で取り組んでいる。
- ・中学校で指導を受けた子どもたちがあと2年もすると高校に入学するので、より良い探究学習ができるはず。

(畑会長)

- ・山口大学で10年勤務した後、常葉大学で教鞭をとっている。
- ・総合経営学部の学部長を務めている。
- ・自動車産業の人事や賃金管理などを中心に研究を行っている。
- ・市立高校で探究学習を行ってきた後、大学としてどのように教育をすべきかを改めて考えている。
- ・常葉大学は静岡県にある大学なので、地元企業に就職するということを中心に置いている。
- ・県内での就職ということであれば、常葉大学の学生の方が有利だと感じるので、地元企業の発展に貢献できるような人材を多く送り出したいと考えている。
- ・市立高校も就職という意味でも吉原商業時代からの積み重ねもあるので、実績があると思う。
- ・進学と就職の両方でアピールしていってもらいたい。

(小野委員)

- ・委員の皆さまから色々な方策を示していただき大変ありがたい。
- ・市立高校であるので、県立高校と比べると市で独自にできることも多いので、そういう部分を活用できればと考えている。
- ・事務室の立場で今後も市立高校を支えていきたい。

(金親委員)

- ・これからの教育を考えた時に連携が非常に大切だと感じた。
- ・たくさんのヒントをいただくことができてありがたい。
- ・今年度は商工会議所青年部にお世話になった「サマーインターンシップ2014」が印象に残った。
- ・教員だけでは発想できないアイデアばかりで、ありがたかった。
- ・高校生が直接部活動などで中学生や保護者と接することがPRという点からも必要だということが理解でできた。
- ・柴田委員が静岡大学で行った講義は是非、市立高校でも実施したい。
- ・今後はターゲットを絞ったPRをしていきたい。

(植野委員)

- ・ 教務課長として日々の授業やテストの運営、生徒の学籍管理などを行っている。
- ・ 本校以外の高校も含め教務課長はいかに授業時間を確保するかに苦勞している。
- ・ 学校の教員は、学校外の情報を得る機会がないので、このような場で色々な立場の方からお話を伺えて大変参考になった。
- ・ できれば私以外の先生方にも本日の皆さんのお話を聞いてもらえば良かった。
- ・ できるだけ本日伺った話を先生方と共有していきたい。

(齋藤副会長)

- ・ 本日は、ありがとうございました。大変参考になった。
- ・ いくつかのご意見についてはトライできるのではないかと考えている。
- ・ 中川委員のお話を伺って当時を思い出した。
- ・ 中川委員の教育に対する強い思いに大変感銘を受けた。
- ・ 保育実習を継続していただいで感謝している。
- ・ 探究学習を行っていくためには基礎学力がどうしても必要。
- ・ 基礎学力を身に付けさせるためには部活動とぶつかってしまうこともあるが、両方で切磋琢磨して伸びていくような術を考えていかななくてはならない。
- ・ 大学入試制度が変更され、基礎学力テストが実施されれば全員受験しなくてはならないようだ。
- ・ 本日のようなご意見をいただければ心強くやっていける。
- ・ PRについては相当頑張ってくれている先生もいるがまだまだというのも事実。
- ・ 時間を掛けてPRしていく必要性を感じている。
- ・ 教育は人を育てるということ。生徒は当然だが、保護者や地域の方々、社会人も含めて尊敬しあえる人作りを目指してやっていきたい。
- ・ 吉村委員をはじめ地域の方々には、いつも声を掛けてくださるので、本当にありがたい。
- ・ 本日いただいた意見を今後に活かしていきたい。

閉会